未開封ミルク缶発見される!

岡山大学医学部 (旧衛生学教室)



令和5年3月21日の山陽新聞に岡山大学医学部(岡山市)に事件当時に製造された未開封のミルク缶が保管されていることが関係者の取材で分かったと発表されました。この缶は森永乳業徳島工場で1955年5月6日に製造された物でMF5506の刻印が打たれています。まさにヒ素が混入した時期の製品です。岡大医学部ではミルク缶と当時の被害者のカルテを探し出し4月17日より医学資料展示室にて一般公開されました。

これに合わせてテレビ局の瀬戸内海放送から取材の依頼が有り、守る会やひかり協会などが取材を受けました。

また 4 月 26 日に医学資料展示室の一般公開に岡山の被害者の有志 10 人で見学に行きました。

毎 展示中の未開封 森永ミルク缶 岡大医学資料展示室毎 未開封ミルク缶発 見 を伝える。 山陽新聞





展示室では医学資料室長補佐の木下浩研究員より展示物の詳細説明が有りました。第1号患者のカルテと第55号患者のカルテが展示されていて詳しい説明をして頂きました。岡山大学医学部では過去から現在までの膨大な量のカルテが保管されているとお聞きしました。

第1号の患者は原因不明のまま死亡され、後 日ヒ素による中毒死と書き加えられています。

第 55 号患者はヒ素中毒と判明後に解毒剤の バルを投与され快方に向かい軽快退院と書か れています。どちらのカルテにも森永の赤いハ ンコが押されていました。









【特集】森永ヒ素ミルク事件のいま 発生から 68 年…未開封のミルク缶を岡山大が全国初公開 未開封ミルク缶の見学会の様子が瀬戸内海放送の「パークKSB」の中で 5 月 8 日に放送されました。 未開封ミルク缶の公開の様子や事件発生時の岡山大学医学部に残された第 1 号の被害児カルテの説明、被害

未開封ミルク缶の公開の様子や事件発生時の岡山大学医学部に残された第1号の被害児カルテの説明、被害者の菅野孝明さんのインタビューなどと森永ヒ素ミルク事件についてとても詳しく調べて構成された内容です。この未開封ミルク缶の保存に関わった岡山大学 太田武夫名誉教授の貴重なお話もありました。

現在この特集は KSB 瀬戸内海放送の YouTube チャンネルやヤフーニュースで公開されています。「森永ヒ素ミルク事件」で検索すると出てきます。是非ご覧ください。

資料公開は10月27日まで。未開封ミルク缶と資料の見学をご希望の方は下記まで連絡して下さい。 岡山大学医学部 医学資料室 ☎086-235-7004 事前に予約が必要です。